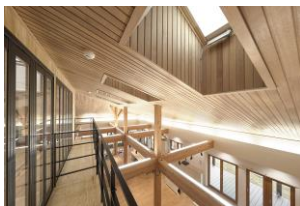


プロジェクト写真



施設概要

所在地 : 宮城県仙台市青葉区上愛子字松原 47-19
 施設用途 : 事務所
 構造 : 木造軸組工法 地上2階建て
 規模 : 敷地面積2086.62㎡ 延床面積 631.37㎡
 竣工 : 2023年5月
 材料 : 杉(宮城県産)
 木材使用量 : 138.72m³ (うちCLT 9.68m³)

設計・施工

設計 : 建築・監理 株式会社 北洲 一級建築士事務所
 構造 有限会社 テラ構造設計
 施工 : 建築 株式会社 北洲
 木材供給 : 西北プライウッド株式会社(CLT) 石巻合板工業株式会社
 プレカット : 株式会社 北洲

コンセプト

◆先導的ZEBオフィスビル

本建物は、先導的なZEBオフィスビルであり、災害時・停電時にも自立して復旧活動の拠点とすることを目指している。

建物の高断熱化を基本とし、自然の力を活用するパッシブデザインを取り入れているほか、地中熱利用・高効率設備・太陽光発電・V2Xシステムなどを導入し、ZEB108%を達成している。また、地産地消を目指して宮城県産木材 CLTなどの地域資源を活用しているほか、敷地には地域の植物による雑木林の再生を目指した緑地（ビオトープ）を配し、社員が心身共に健康に働ける環境を実現している。

設計趣旨

◆働き手の健康・快適に寄与する『パッシブZEB』

- ①ダブル断熱システムとトリプルガラスの木製サッシを採用。
- ②風が抜ける窓配置、夏季の日射を遮る深い軒の回廊、冬の日射を取り入れるダイレクトゲインなどのパッシブ設計を実施。
- ③大屋根の造形は、先人のパッシブに関する知恵が詰まった古民家デザインをモチーフにしている。

◆省エネ・創エネ技術

- ①地中熱を空調システムや冬季の駐車場の融雪に活用。
- ②太陽光発電33kWを搭載。日中は自家消費し、使いきれなかった分は再生リチウムイオン蓄電池47kWhや電気自動車へ貯め効率よく運用する。
- ③三相30kVAパワコンと2台の充放電器を備えたV2Xシステムは、有事にも活用が可能で、自立した復旧活動拠点となる。

◆豊かな自然環境と地域材の活用

- ①地域の遺伝子を持った樹木・草花を移植再生するビオトープを南面の庭に配置。
- ②宮城県産材CLTを室内壁や2階の床にふんだんに採用している。
- ③地域特産の雄勝（おがつ）石を玄関の壁面に採用している。

設計者

【意匠設計】株式会社 北洲 一級建築士事務所

【構造設計】有限会社 テラ構造設計

アクセス

住所：
仙台市青葉区上愛子字松
原 47-19

